神奈川県議会議員 西村くにこ

県政報告

発行：2023年4月



ホームページ
http:// 西村くにこ .com/
Facebook
https://www.facebook.com/nishimura.kuniko

▲ホームページ　▲ Facebook

令和５年第１回定例会 厚生常任委員会質疑から

先の統一地方選挙で４期目の当選を果たすことができました。改めて第１回定例会を振り返り、ご報告いたします。今後も、さらなる県民サービスの充実のために邁進してまいります。

妊孕性温存治療の助成対象を拡充

妊孕性温存治療とは小児がんやＡＹＡ世代のがん患者の方が、治療の経過で「妊孕性（妊娠しやすさ）」を失うことがあるため、精子や卵子等を凍結し将来に備える治療です。神奈川県では西村くにこの代表質問での提案を受け、国に先立ち「妊孕性温存治療の助成制度」が実施されていました。このほど、助成の対象に、温存後生殖補助医療（凍結した検体を用いた不妊治療）も含まれることになりました。

リトルベビーハンドブックの普及啓発

リトルベビーハンドブックとは、低体重で生まれた小さな赤ちゃんのための母子手帳のサブブックです。令和３年９月の代表質問で提案し、間もなく完成します。完成後は、小さく生まれた赤ちゃんとそのご家族への理解を広げるため、県内自治体の保健師等の方々に研修の場を持つことになりました。研修ではリトルベビーの母親からも当事者の思いを語っていただく予定です。

子どもの訓練は無償！筋電義手の活用促進

筋電義手普及への取り組み

神奈川県ホームページ
pref.kanagawa.jp
をご参照ください。

物をつかむ等の動作ができる「筋電義手」。西村くにこは、筋電義手の普及に一貫して努めてまいりました。利用者の負担を軽減するため、西村くにこの提案を受け開設された「筋電義手バンク」には１５００万円を超える寄付が寄せられ、義手購入費に充てることができるようになりました。これにより、希望者は無料でオーダーメイドの練習用筋電義手を入手し、リハビリが受けられます。費用は初診時１９７０円、再診時１３３０円（３割負担の場合）。子どもの場合は、お住いの市町村の小児医療費無償制度の対象年齢であれば、無償で訓練を受けられます。このほど、普及啓発のための動画が完成し、神奈川県ＨＰで公開されています。

質疑で実施が明らかになったその他のテーマ

「がんセンターでの最先端ゲノム医療（ガーダント３６０RUO）の導入」は３月中に実施。「障害者施策やひきこもり対策としてのメタバースの活用」や、「子どもの権利擁護センターの設置」は令和５年度中に実施。